

家庭

早寝・早起きで、朝ご飯を食べよう

子ども達の健やかな成長には、「よく身体を動かし、よく食べ、よく眠る」ということが必要不可欠です。これらの基本的な生活習慣を身につけさせましょう。また、朝起きや着替えなどの身の回りのことは、自分でやるという自主的な生活態度を身につけさせ、学習意欲や体力・気力の向上につなげましょう。



テレビを見る時間を決め、パソコン、携帯電話やスマートフォンの使い方を話し合おう

健やかに成長している子どもにテレビを長時間見せることは、心身ともに望ましいことではありません。携帯電話やスマートフォンは便利な道具ですが使い方によっては、様々な問題に巻き込まれます。



テレビを見る時間やゲームをする時間の約束、パソコン、携帯電話やスマートフォンの使い方を家庭で話し合い、ルールを決めましょう。



家庭での学習環境を整え、家庭学習習慣を形成しましょう

家庭学習は学校での学習をしっかり身につけ、自ら学ぶ習慣を身につけるために大切なものです。子どもの話を聞く、教える、集中して学習する環境を整えるなどで、家庭学習の習慣を身につけさせましょう。

読書の時間をつくりましょう

読書は、脳を活性化させ、創造力や知識の量を増し、また、読解力もつくため、読書の多い子どもは、学力が向上し、成績も伸びています。家庭で、子どもを読書に向かわせる環境づくりを進めましょう。



学校と家庭との連携を図りましょう

家庭は基本的な生活習慣や人に対する思いやり、善悪の判断など、社会生活を営むための基本的なルールやマナーを身につける重要な役割を担っており、学校もまた、同じくその役割を果たす責任があります。そのため、家庭と学校との連携が不可欠です。学校だよりや学級だよりなどの情報をしっかり受け止め、学校との連絡を密に取り合い、互いに連携を深めましょう。

学校

【短期的な取組み】

全国学力・学習状況調査の分析と活用

調査の問題が今日求められている学習指導の成果を評価する問題として作成されていることを十分に踏まえ、結果の分析を行い、学習指導の改善に努めます。調査問題や教材集(福岡県教育委員会作成)をドリル化し、繰り返し練習したり、授業の終末での評価テスト結果に基づき補充学習をするなど授業の改善を行います。

【中長期的な取組み】

授業改善

公開授業を積極的に行い、検討会でお互いの授業を検証し改善するなど、授業力の向上に努めます。



指導法の工夫・改善

習熟の程度に応じた少人数指導やチーム・ティーチングを積極的に取り入れるなど、子ども一人ひとりに応じた、きめ細かな学習指導の工夫に努めます。

個別指導や補充指導の充実

授業だけでは十分に理解できない子どもがいること、理解度について子どもと教師の間には認識の違いがあり得ることなどを踏まえ、放課後や長期休業中の補充学習、個別指導の充実などに努めます。



保幼小中学校連携教育の充実

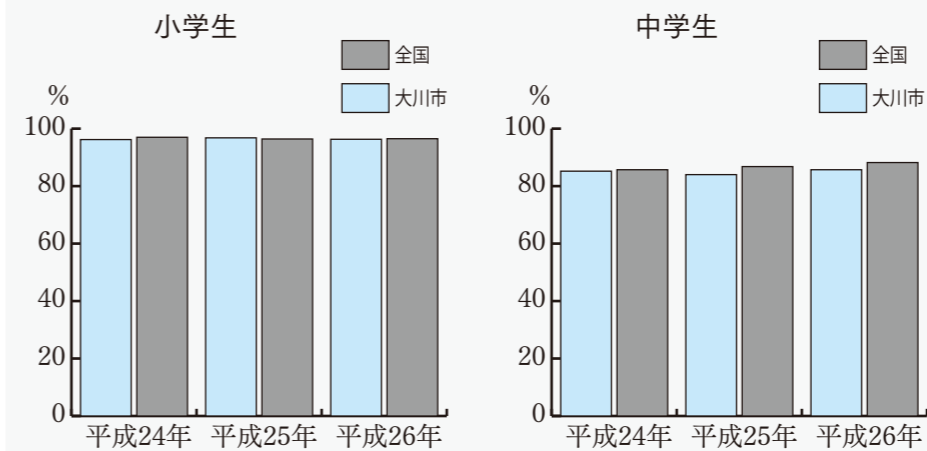
学校種を超え、学習内容や道徳的価値などの円滑な連携を通し「生きる力(知・徳・体)」を育成していきます。

学校・家庭・地域の連携教育の推進

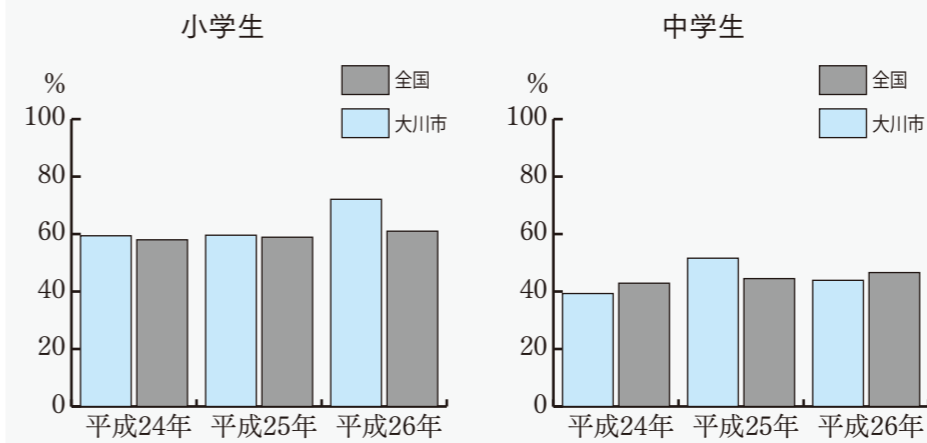
(家庭学習習慣や基本的な生活習慣の定着)

家庭での生活習慣や学習習慣の形成に学校が積極的に関わり、「大川市生活習慣・家庭学習のすすめ」を活用して家庭と共通の取組みを行うなど、保護者と一体となった具体的な取組みを進めます。  
○家庭学習は自分で決めた時刻に始めましょう。  
○宿題・復習・予習などを計画的に行いましょう。  
○「あいさつ」と「外での運動や遊び」で生活リズムをつくりましょう。

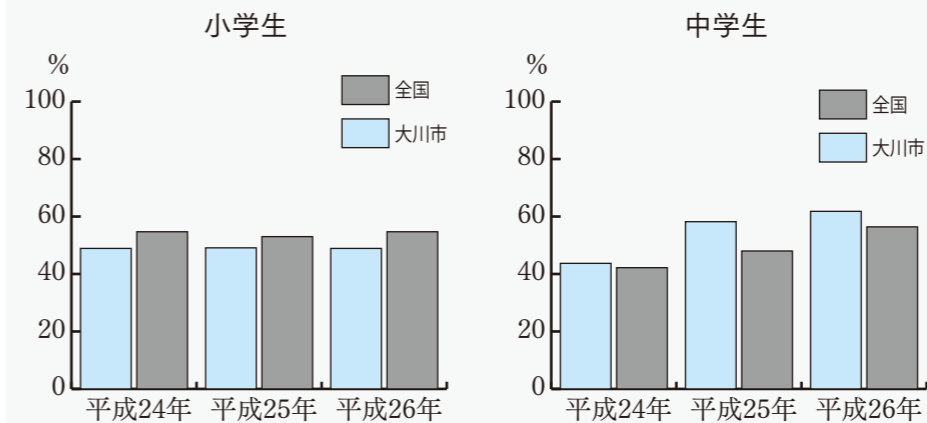
家で、学校の宿題をしている割合



自分で計画を立てて勉強している割合



平日1時間以上、TVゲームなどを行っている割合



(3) 規範意識の醸成  
中学校ではメールや携帯ゲーム(TVゲーム)をする時間が長いほど家庭学習の時間が少ないという結果がでています。特にメールやゲームの時間が3時間以上が24%、1時間以上が62%程度にもなっています。

メールや携帯ゲーム(TVゲーム)を長時間行うと、生活が乱れ、睡眠不足や体調不良に陥ります。また、携帯電話やスマートフォンは、使い次第で子どもを危険なサイトや有害情報などの危険にさらすこととなります。フィルタリングの契約やお子さんとメールや

携帯ゲームの使用時間など、しっかりと話し合っておくことが大切です。



今後の取組み

(1) 基本的な考え方

学びや発達の連続性を図る「保幼小中連携教育」や地域に根差した教育を図る「学校・家庭・地域との連携教育」の推進を図っていきます。その中で、子ども達に基本的な生

(2) 学校では

○校長の強いリーダーシップのもと、教職員が一丸となり、学校運営に参画し、「確かな学力」「豊かな心」「健康や体力」などの「生きる力」を育む教育活動を推進します。  
○子どもの学力実態を分析し、学力向上のための重点方針を学力向上プランに明確に表し、短期的・中長期的に組織的な取り組みを行います。  
○大川市教育研究会や中学校区などの授業研究会へ、小・中学校に関わりなく積極的に参加し、学習内容・指導方法の系統性などについて学び合い、授業力の向上に努めます。



活習慣や規範意識を培うとともに、基礎的・基本的な知識・技能や自ら考え判断し、表現する力の育成、さらには、自ら主体的に学ぶ態度の育成を推進していきます。